

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ちくし永岡の里

目標達成計画書

作成日: 平成 25 年 11 月 03 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	災害対策	居室は3階建ての2階に位置し、出火場所を想定し、避難場所を2か所に決定し、職員一人ひとりが冷静に、迅速に避難誘導出来る体制を構築していく。	夜勤の職員全員が、夜間を想定した避難訓練の目標タイムを設定し、クリアするまで、職員全員が協力し、自信を持って夜勤者が、利用者全員を安全に、避難出来る体制の確立と、非常食の見直しを検討していく。	12ヶ月
2	35	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	契約時に、利用者や家族に説明し、事業所での重度化に向けた支援体制を理解してもらっているが、利用者の重度化に合わせ、家族と連絡を取りながら方針を確認していく。	事業所で出来る終末期の支援と、出来ない支援を文書化し、利用者や家族に理解して、承諾してもらい、利用者や家族にとって、最善の終末期の支援を話し合い、安心して地域介護が出来る方法を検討していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。